



佐藤 幸一 議員 7ページ

- 1 8050問題について
- 2 清水町葬斎場控室の冷房設備の整備について



中河 つる子 議員 8ページ

- 1 清水町役場での女性の課長職登用をどのように考えているか



田村 幸紀 議員 9ページ

- 1 新体育館建設延長期間中の事業進捗について



山本 奈央 議員 10ページ

- 1 高齢者安全運転支援装置設置費補助について
- 2 みどりの食料システム戦略推進交付金について
- 3 ゼロカーボンの実現に向けた理解の促進について



深沼 達生 議員 11ページ

- 1 農業情勢について
- 2 スクールバスの運行について



只野 敏彦 議員 12ページ

- 1 商工会の広域連携人材マッチング支援事業について
- 2 関係人口について
- 3 スポーツ少年団等の大会参加費について



川上 均 議員 13ページ

- 1 令和6年度に向けた委託の買物銀行バス、部活バス及びコミュニティバスの運行について問う
- 2 小中一貫教育に向けた取り組みを問う
- 3 学童保育所の今後の取り組みを問う



橋本 晃明 議員 14ページ

- 1 名義変更されていない農地の貸借について



鈴木 孝寿 議員 15ページ

- 1 清水町の歴史について
- 2 町づくり基本条例の考え方について

町政を問う！

一般質問

12月定例会では、9人の議員が20項目にわたり一般質問を行いました。

※1議員最大3項目まで掲載、質問と答弁は要約し掲載しています。なお、一般質問の全文はホームページでご覧になれます。(12月定例会の内容は、2月末に掲載予定です)

一般質問とは

議員が町政全般に関して、執行機関(町長や行政委員会)にその執行の状況や将来の方針、住民生活に密接に係わる事項等について質問をすることをいいます。

清水町議会では1人の質問時間を答弁も含めて90分以内としています。



さとう こういち
佐藤 幸一 議員

8050問題について

町長 引き続き、関係機関等と連携し、相談支援業務に努める

問 80代の親が、自宅に引きこもる

50代の子どもの生活を支え、経済的にも精神的にも行き詰まるという、「8050問題」について、本町の高齢者の親のいる世帯の状況と、現在取り組んでいるその対応について伺う。

町長 8050問題について

は、本町においても支援を要する家庭があるものと認識している。
8050問題を抱える世帯へ早期に対応できるよう、悩みごと心配ごと相談窓口の周知、そして、個々の世帯に応じたサポートと必要な公的サービスにつなげられるよう関係機関等とも連携し相談支援業務に努めている。

8050問題とは

高齢になった親の世話を子どもが担うのが一般的だが、これが逆転して80代になった親が50代の子どもの世話をしなければいけないという逆転現象のこと。

比較的若い年齢層の方で見られていた引きこもりが高齢化してきたことで、さらに高齢の80代の親が50代の子どもの世話をしなければいけない状況が増えてきた大きな社会問題。

清水町葬斎場控室の冷暖房設備の整備について

町長 配置している扇風機を増やして対応していく

問 今後も猛暑が続くと言われている中、ぜひ冷暖房設備の整備を図っていただきたいと考えますが、町長の見解を伺う。

なお、控室に扇風機は配置しているが、夏季にはさらに複数台配置し対応していきたいと考えている。

町長

葬斎場は本年度、築47年を経過した施設であり、冷暖房設備の整備には多額の支出が伴う見込みである。今後、葬斎場自体の改築等の検討が必要であり、改築の際に冷暖房設備を整備することがコスト面からも有利である。以上のことから葬斎場に冷暖房設備を整備することは、現状困難であることをご理解いただきたい。



葬斎場